

機密性 2

所長	次長	処遇部門 首席	処遇企画 統括	特別処遇 統括	処遇 統括	診療担当 上席	看責	副看	担当官	診療室
						平成31年1月16日				
東日本入国管理センター所長 殿										
処遇部門処遇第一班										
入国警備官										
警備士										
面接結果報告書										
国籍・地域	氏名					面接日時(場所)				
トルコ	3寮202号室 DENIZ					平成31年1月16日 14時40分から15時38分まで (3寮B処遇室)				
被面接者は、不眠のため処方薬の変更を希望し、平成30年12月19日、										
診療申出書を受理した者であるが、同人は主として診察している医師の診										
療を拒否しなおかつ精神科の受診も拒否した上で外部診療を希望している。同										
申出について、本日、「当所医師の診療を受診しなければ睡眠薬の変更は不可」										
との結果となり、14時24分、被面接者に診療申出に係る不許可告知を実施										
したが、被面接者が面接を希望したため、主任警守立会の下本職が面接を										
実施した。										
その面接要旨について、下記のとおり報告する。										
記										
1 面接要旨										
先) 私はずっと眠れない、何回も薬飲んだけど、眠れない。だから、薬を変										
えてほしい。私が眠れないのは担当が知っているでしょう。										
当) 睡眠薬を変えてほしいのなら、入管の医師の診療を受けなさい。										
先) あのかそババア (心療内科 医師のこと) に会ってどうする。あなた										

は私にあのくそババアとケンカをさせたいのか。
当) あなたにとって大事なのは眠れないことを医師に訴えることではないのか。「くそババア」などと言わず冷静に診療を受けることはできないのか。
先) あのくそババアは全然信用できない。私は眠れない、と言ってるんだ、てめえこの野郎。
当) この野郎、などと言葉を使わないように。
先) 何だ、てめえこの野郎。オレは眠れない、と言ってるだろ。
当) この野郎、とか汚い言葉を使うんじゃない。
先) 何だこの野郎。(立ち上がる)
当) この野郎、と言うな。座りなさい。
先) 座らねえよ、この野郎。
当) 座れ。
先) 座らねえよ、この野郎。
当) 座れ、と言ってるだろう。冷静に話しができないなら、もう話はしない。
先) てめえこの野郎、てめえはそんなに偉いのか。てめえは外に出たら偉くもねえ。てめえとは話さない。担当と話をする。
当) てめえ、とか言うのなら話はしない。座って冷静に話をできないのか。できないのなら話は終わりだ。ただ、あなたが希望する睡眠薬を変更できるのは、あなたが嫌っている女性医師か精神科医しかいない。診療を受けないのなら薬の変更はできない。
先) (着席する) あのくそババアは嘘ばかりだ。「絶対眠れる。」と出した薬が眠れない。どうする。嘘ばかりだ。私は品川(東京入管のこと)とここ、2年、医師の診療を受けた。精神科にも行った。薬もいっぱい変わった。強い薬も飲んだ。でも全然、眠れない。だから、外の病院で診てもらいたい。あのくそババアじゃない別の医師に診てもらいたい。
当) 眠れない、というのなら入管の医師の診療を受ける必要がある。あなたの症状を一番よく分かっているのは、あなたが嫌っている女性医師だ。また、外の病院に行きたいのなら、入管の医師の許可がなければ行けない。
先) あのくそババアが1か月前に「外の病院はダメだ。」と言った。



当) それでは精神科医の医師に診てもらえばどうか。
先) 精神科医は二人いるだろう、担当に聞いた。でも、その一人とはもう診療を受けていて「デニスさん、あなたにあげる薬は無い」と言われた。入管はレポートをボスに上げるんだろう。ここのこともレポートするんだろう。一人の医師が「薬が無い」と言っているのにもう一人の医師が薬を出すわけないだろう。オレは病院のアルバイトをしたことがあるから分かるんだ。二人の医師が話あってるんだろう。一人の医師が「薬を出さない」と言ってるのにもう一人が薬を出したら、おかしいだろう。
当) 入管のシステムとして、あなたが眠れない、薬を変更してほしい、というのなら方法は二つしかない。女性医師か精神科医の診療を受けるしか薬は変更できない。
先) くそババアも精神科医も信用できない。だから外の病院に行きたいんだ。
当) それほど外の病院に行きたいのなら自分でお金を支払って行きたい、ということか。
先) 入管で仕事もできないのに外の病院のお金を払えるわけねえだろ、この野郎。
当) ならば、入管のやり方に従うしかない。入管もできることとできないことがある。
先) あのかくそババアには「外の病院に行けない」と言われている。あのババアの診療を受けて、「じゃあデニスさん、この薬を飲んで」、1週間飲む、眠れない、「じゃあデニスさん、今度はこの薬を飲んで」と東京オリンピックまでその繰り返しだ。前に『東京オリンピックまで入管にいる』と言われた。東京オリンピックまで入管にいたら本当に体がおかしくなるだろ。本当に東京オリンピックまで入管にいるのかオレは。
当) 発言をした職員が誰か知らないが、今はあなたが眠れない、薬を変えてほしい、という話をしている。あなたが女性医師や精神科医を信用しない理由は分かった。だからと言って入管の別の医師や外の医師があなたを診たら、今までの症状が分からないから、治療がゼロから始まることになるがそれでもいいのか。

